



1月11日 貯金課窓口で受験や入学に必要な収入証紙を購入した方に記念品をプレゼント

CONTENTS

- 平成28年産農産物を振り返る … 1～7
- 第68回青年部通常総会・
女性部加工部会味噌作り講習会 … 8
- 空知総合振興局へしめ飾り寄贈・
女性部役員とJA役職員懇談会 … 9
- 理事会だより … 10
- JAグループ通信 … 11
- 融資課からのお知らせ・こよみ他 … 12
- 農業者年金基金からの案内・川柳 … 13
- 共済ホットライン … 14

●スプラピパラの一言●

3月より美唄産のハスカップをふんだんに使った《神の実仕立てのまごころワイン》が発売されます!ぜひご賞味下さい!



びばいからの贈り物

ワ ま 仕 神
イ ご 立 の
ン こ て 実
ろ の



平成 28 年産農作物を振り返る

水稲

JAびばい管内の基幹作物である水稲をはじめ、小麦、大豆、その他園芸作物の生育状況等を振り返ります。今年度の作付の参考にお役立てください。



『気象経過と生育状況』

(1) 融雪と耕起作業

平成28年は3月の降雪量が少なく、高温に経過したため融雪が進み、融雪期は平年より6日早い4月3日だった。(空知農業改良普及センター調べ) 耕起作業は、ほ場の乾きが良く、耕起最盛期は5月2日(早6日)と平年より順調に進んだ。

(2) は種作業

は種作業は、は種始4月17日(早2日)、は種期4月22日(早2日)、は種終4月27日(早1日)と平年より1ヶ月

2日早く行われた。

(3) 育苗

出芽期は4月30日(早2日)となり、は種後は好天に恵まれ、出芽は良好だった。育苗期間中の気温は高温に経過したため、草丈が長く、葉齢の進んだ苗となった。また、乾物重と充実度が平年を上回った。

育苗中は目立った病害の発生はなかった。

(4) 移植作業

移植は、移植始5月20日(早2日)、移植期5月24日(早2日)、移植終5月28日(早3日)と平年より2〜3日作業が早く進んだ。一部で強風による苗の植え傷みが見られましたが、活着期は5月28日(早2日)で、全体的に良好だった。

(5) 初期生育

6月は中旬まで低温、日照不足により生育が停滞した。初期の分げつ発生が劣り、6月15日調査の茎数は、平年の70%程度となった。

(6) 分げつ盛期・冷害危険期

6月下旬から茎数は増加し、7月15日の調査では、平年並みの茎数を確保

保したが、遅発分げつが多くなった。「ななつぼし」の幼穂形成期は、7月4日(遅2日)となり生育が遅れた。冷害危険期間中は、不稔籽の発生に影響する低温(15℃以下)の日はなかった。

6日)となった。

表2「ななつぼし」中・成苗平均の生育推移(普及センター作況ほ場)

調査月日	項目	草丈 (cm)	葉数 (枚)	茎数 (本/m ²)	遅速 日数
6月1日	28年	19.8	4.7	95	早3
	平年	15.6	4.4	99	
6月15日	28年	27.3	6.4	129	±2
	平年	27.3	6.5	183	
7月1日	28年	41.6	8.5	384	遅2
	平年	43.1	8.8	506	
7月15日	28年	60.6	10.1	683	遅1
	平年	65.1	10.3	672	

(7) 出穂

出穂期は8月1日(遅4日)で遅れ穂が多かったため、穂揃いがやや不良だった。また、7月中旬に早期異常出穂の見られるほ場が散見された。

(8) 熟期間・成熟期・収穫作業

登熟期間は高温で経過したが、遅れ穂が多く日照が少ない時期もあったため、成熟期は3日遅れとなった。

収穫作業は、成熟期が遅れたことに伴い収穫始9月18日(遅4日)と遅れてスタートし、収穫終10月4日(遅

表3「ななつぼし」中・成苗平均生育期節(普及センター作況ほ場)

	出芽期	分げつ期	活着期	幼穂形成期
H28	4/28	5/28	6/9	7/4
平年	4/30	5/31	6/10	7/2
遅速	早2日	早3日	早1日	遅2日
	出穂始	出穂期	出穂揃	成熟期
H28	7/29	8/1	8/5	9/14
平年	7/25	7/28	7/31	9/11
遅速	遅4日	遅4日	遅5日	遅3日

(9) 収量構成要素、収量

普及センターの作況ほ場では、平年よりも穂数・籽数が少なく、10a当たり収量も平年を下回った。

北海道農政事務所による南空知の予想収量(10月15日現在)は、10a当たり540kg、作況指数102と発表されている。

品質は、心白、腹白などの白未熟粒が多く、製品歩留まりは低くなっている。その要因として、次のような事が考えられる。

① 老化苗の移植、6月上旬の低温による初期生育(茎数確保)不良。

② 初期生育が不良であったため、遅れ穂が多く、出穂が不揃い。



平成 28 年産農作物を振り返る

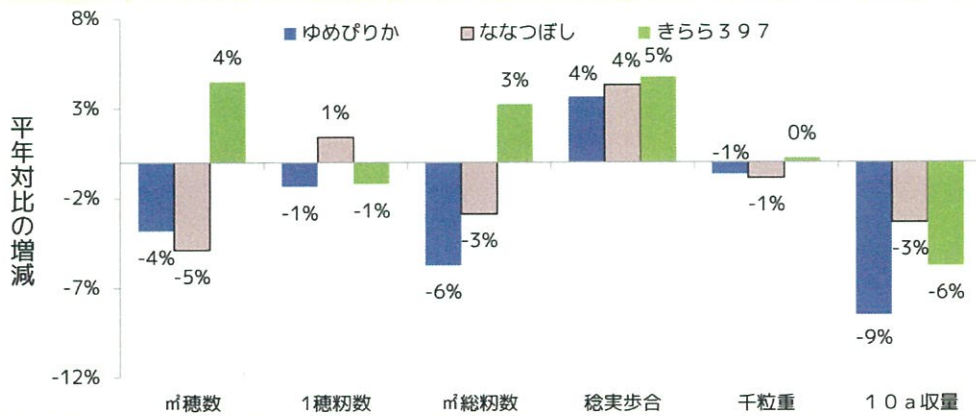


図1 普及センター作況ほ場の収量構成要素・収量の平年対比（中苗・成苗平均）

③ 出穂の揃いが不良であったため、
登熟がバラツキ、登熟不良の粒が
発生した。
④ 登熟初期（8月上旬）の高温、登熟
中期（8月4～5半旬）の日照不足
が発生を助長させた。

- 『平成29年産に向けて』
- （1）初期生育促進と穂揃い性向上対策
初期生育を促進するために、次の事を重点的に実施すること。
 - ① 健苗の育成に努め、老化苗の移植を防止する。
 - ② 移植後は、初期生育を促進する水管理を実践する。
 - ③ ほ場の乾田化、適正施肥、側条施肥の割合の見直し等に努める。
 - （2）冷害危険期の深水管理の徹底
幼穂形成期を必ず確認し、冷害危険期は深水管理を徹底する。
 - （3）いもち病対策
いもち病発生ゼロに向け、引き続き万全な対策で取り組む。
 - （4）紋枯病対策
今年の収穫期に、止葉葉しようまで
 - （10）いもち病
8月上旬に葉いもち病の初発を確認したが、それ以降発生は確認されず、発生が少ない年だった。
 - （11）カメムシ
一部で捕虫数が多く追加防除が必要と判断される地点が見られた。
 - （12）紋枯病
7月下旬から高温に経過したため、発生量は多く、上位葉まで病斑が進展しているほ場も散見された。

病斑が達している株が散見されたほ場は、翌年7月下旬（出穂前）に浅水として、葉しよう下部に十分付着するよう薬剤散布を行う。また、窒素肥料の多用や極端な密植は避ける。

（5）雑草対策
ヒエやミズアオイなど、残草の多かったほ場が見受けられた。対象とする雑草に効果のある薬剤を選択し、適期に散布する。

『秋まき小麦』
は種作業は平年より2日早く開始された。
9月12～13日には31mmの降雨があったが、越冬前の茎数確保が浸透したため、9月20日までに7割、25日までに9割のほ場では種作業を終了した。

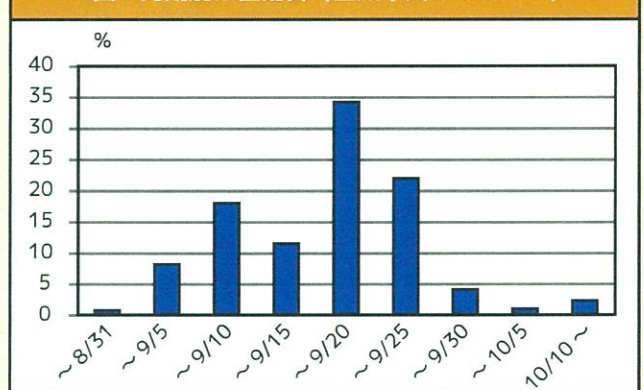


写真 紋枯病（十勝農試 東岱 原図）

表1 作業・生育期節と生育状況（きたほなみ越冬前）

	平成 28 年	平 年	遅速（差）
は種始	9月9日	9月11日	早2日
は種期	9月17日	9月20日	早3日
は種終	9月25日	9月29日	早4日
出芽期	9月24日	9月29日	早5日
根雪始	12月17日	11月28日	-19日
越冬前葉数	5.7 葉	5.9 葉	-0.2 葉
越冬前茎数（本/m²）	1,608	963 本	+645 本
融雪期（H27）	4月3日	4月9日	+6日

図1 時期別は種割合（空知中央NOSA I）



平成 28 年産農作物を振り返る

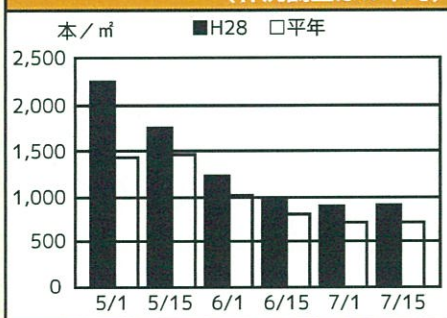
表 2 生育期節と遅速（きたほなみ越冬後）

	平成 28 年	平 年	遅速（差）
起生期	4 月 10 日	4 月 15 日	早 5 日
幼穂形成期	5 月 4 日	5 月 9 日	早 5 日
止葉期	5 月 25 日	6 月 1 日	早 6 日
出穂期	6 月 2 日	6 月 9 日	早 7 日
成熟期	7 月 19 日	7 月 19 日	±0 日
収穫始	7 月 24 日	7 月 21 日	遅 3 日
収穫期	7 月 26 日	7 月 25 日	遅 1 日
収穫終	8 月 2 日	7 月 29 日	遅 4 日

は種作業が早まったことから、 m^2 当たり茎数は平年より 7 割多い 1,600 本を確保した。
根雪始は前年より 12 日、平年より 19 日遅い 12 月 17 日だった。
は種期以降根雪までの降水量は 300 mm を超え、湿害・凍害に加え雪腐病防除農薬の効果低減が心配された。
融雪期は 4 月 3 日と平年より 6 日早く迎え、岩見沢の積雪期間は平年より 24 日間短い 107 日間となり、冬損は極めて軽微でした。
☆融雪が早いことから、起生期は平年より 5 日早く迎えた。
起生期以降 5 月末までは概ね好天に恵まれ、幼穂形成期は 5 日、止葉期

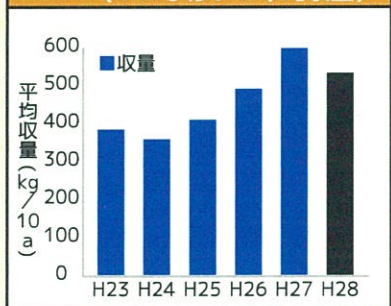
開花期前後に断続的な降雨があり、開花受精障害を受けて 1 穂あたりの稈実粒数は減少したが、穂数が平年を大きく上回ったため、ほぼ平年並みの稈実粒数が確保された。

図 1 茎（穂）数の推移（作況調査ほの平均）



は 6 日、出穂期は 7 日、それぞれ平年より早く迎えた。
6 月に入ると降雨日が増えて日照時間が短くなり、気温は平年並みや低く経過した。
登熟期間の気温も平年並みからやや低く、成熟期は平年並みとなった。
収穫作業は、降雨予想に合わせた作業が行われ、収穫期は平年並みとなった。
☆幼穂形成期の m^2 当たり茎数は、は種期が早まったこと、4～5 月の気象条件が良かったことから、2,000 本を超え、その後も平年を上回って推移した。

図 2 年次別収量の推移（JA びばいの平均収量）



『平成 29 年産に向けて』
収量確保・病害対策の考え方が浸透し、平成 29 年産小麦のは種作業は平年より 5 日早まった。このため生育は旺盛となり、10 月 1 日現在の葉数は平年より 1 枚多く、 m^2 あたり茎

断続的な降雨のためほ場に入らず、防除のローテーションがくずれる場面もあった。
登熟期間は、出穂後の気象が高温条件とならなかったため、前年より 3 日長い 47 日間が確保された。
子実粒の充実が期待されたが、過繁茂傾向にもあったことから、粒の肥大が進まず、やや細い仕上がりとなったが、収量は豊作の H27 年に次ぐ多収となった。
収量は 8 俵をやや下回りましたが、豊作の H26、27 年に次ぐ多収となった。タンパク含有率は基準値を上回り、許容値上限に近くなった。

写真 1 雪腐病の被害→



←写真 2
なまぐさ
黒穂病
罹病穂

- ① 輪作の実施(最重要)
 - ② 健全種子の使用(自家採種を使わない)
 - ③ 種子消毒の実施
 - ④ 適期は種(遅まきをしない)
 - ⑤ 適正な種深度(深まきをしない)
- 数は平年を上回ったが、10 月以降が低温で推移したため、越冬前調査では葉数は 5.5 葉と平年より 0.4 葉下回り、茎数は 948 本/ m^2 と平年比で 86% とやや少なくなった。
冬損害をできるだけ少なくするため、早めに融雪促進の準備をする。
☆「なまぐさ黒穂病」は、空知管内の 6 市町村に広がり、作付 6,820 畝の内、18 畝で発病が確認された（H28・7・21 現在、未確定）
発生を抑えるための対策は次のとおり



平成 28 年産農作物を振り返る

該当しない項目がある場合は発病リスクが高いと考えられるので、翌年の見回りを徹底するなど、見逃さないように心がける。

☆秋まき小麦の減収要因は、連作障害だけでなく排水不良や低pH土壌が考えられる。額縁明渠や補助暗渠の施工、石灰質資材の投入を検討する。

春まき小麦

『生育経過』

は種作業は、ほぼ平年並みの11月15日に終了。

降雪始は平年より17日早い10月13日でしたが、根雪始は12月17日と平年より19日遅くなったため、発芽して冬損を受けることが心配された。

融雪期は3月31日と平年より8日早く、5月末までは概ね好天に経過したため、幼穂形成期から止葉期までは平年よりやや早く生育した。

6月の気温は平年並みからやや低く、降雨日が多いため日照時間が平年を下回り、出穂期・成熟期は平年並みに迎えた。

出穂期前後と成熟期前後の断続的な降雨により、赤かび病・穂発芽の発生が助長され、品質低下の要因となり収量も低下。収穫作業は、秋まき小麦の刈取遅延に伴い遅くなった。

表3 春まき小麦の生育期節と遅速（初冬まき）

	平成 28 年	平 年	遅速（差）
は種終	11月15日	11月14日	遅1日
幼穂形成期	5月17日	5月15日	遅2日
止葉期	5月31日	6月1日	早1日
出穂期	6月10日	6月10日	±0日
成熟期	7月31日	7月27日	早1日
収穫始	8月5日	8月1日	遅4日
収穫期	8月7日	8月3日	遅4日
収穫終	8月11日	8月6日	遅5日

『平成29年産に向けて』

☆積雪期間が長いと秋まき小麦同様に越冬率が低下するため、融雪促進に努める。

《散布時期》散布適期は最高気温が0℃以上の続く日（3月1日～10日頃）《散布資材》アシシユ類、融雪成力ル等40～60㍑/10a

※散布後20cm以上の新雪が積もった場合は再度散布する。

※ばらまき栽培では凍上害を回避するため、極端に早い融雪剤散布を避ける。

融雪後、ほ場に入れるようになったら直ちに窒素肥料を施用する。

排水性の悪いほ場では、額縁明渠の設置を検討する。

大豆

『生育経過』

は種作業は、ほぼ平年並みに行われ、順調に出芽期を迎えた。

表4 大豆の作業・生育期節と遅速（ユキホマレ）

	平成 28 年	平 年	遅速（差）
は種期	5月28日	5月30日	早2日
出芽期	6月11日	6月12日	早1日
開花期	7月23日	7月19日	遅4日
成熟期	9月24日	9月23日	遅1日
収穫始	10月7日	10月4日	遅3日
収穫期	10月18日	10月14日	遅4日
収穫終	10月28日	10月24日	遅4日

表5 大豆の作業・生育期節と遅速（スズマル）

	平成 28 年	平 年	遅速（差）
は種期	5月25日	5月25日	±0日
出芽期	6月4日	6月5日	早1日
開花期	7月26日	7月22日	遅4日
成熟期	9月29日	9月28日	遅1日
収穫始	10月16日	10月9日	遅7日
収穫期	10月21日	10月15日	遅6日
収穫終	10月30日	10月23日	遅7日

6月の気温は平年並みからやや低く、日照時間も平年を下回り、出芽期以降の生育はやや停滞した。

7月の日照時間は平年を上回ったが、気温はやや低く経過し、開花期は平年から4日遅くなった。

8～9月は高温に経過したため、成熟期はほぼ平年並みまで回復。10月は断続的な降雨が続き、収穫作業が停滞すると共に、品質を低下させた。

マメシンクイガの発生時期は平年並みだったが、発生量はいく傾向にあり、一部で食害を受け、品質を低下させた。

『平成29年産に向けて』

☆本年は、連続した台風の上陸に象徴されるように、降雨に悩まされる年だった。「あの晴れた時期に溝を掘っておけば…」と悔やんでいる方も多いと思う。

管内の大半は転作田であり、冠水には至らなかったが、浸水して長時間滞水するほ場が多く見られた。

すぐに見える被害はなかったが、湿害により根が傷み、早期に落葉したほ場では、粒の肥大が抑制された。

☆滞水した場合は直ちに排水を掘り、停滞水を排除できる準備が必要



平成 28 年産農作物を振り返る

【トピックス】

秋まき小麦の起生期追肥は、1㎡にある莖数で施肥量が決められます。㎡あたり莖数が800本、1,600本が基準莖数ですが、1㎡あたりでなく1㎡当たりになると、計算の手間を考慮してしまいます。そこで…

自分の畑が基準莖数を超えているか少ないか、簡単にわかる計算方法を紹介します。

調べるのは、①50cmの莖数、②畦幅(cm単位)だけです。

計算方法③「基準莖数÷200×畦幅(cm単位)」

③の計算結果が①より多い場合、畑の㎡あたり莖数は基準莖数を上回っています。

【お試し】800本/㎡を上回るでしょうか？

①50cmの莖数53本 ②畦幅(cm単位)12.5cm

③800÷200×12.5=50

①>③なので、㎡あたり莖数は、800本を上回ります。

写真5
ここまで掘りたい
額縁明渠



写真3
滞水した大豆ほ場



写真6
トレンド？無材暗渠



写真4
畦切による大豆畑の停滞水排除

(写真4)。
暗渠の点検だけでなく、あらかじめ、額縁明渠や無材暗渠などの補助暗渠を整備しておくことも大切。作物が生育している場合でも、水稻用の明渠掘機を活用することも検討する。

たまねぎ

北もみじ2000

『今年の生育経過と農作業状況』

春先の気温・日照が比較的高かったことで融雪がすみ、移植作業は平年より早く順調に行われた。定植後は強い風の影響により、葉の傷みが散見された。

表1 たまねぎの生育期節と平年比較
(普及センター定点)

生育期節	平成 28 年	平 年	遅速(差)
出芽期	3月13日	3月11日	-2日
球肥大期	7月9日	7月11日	+2日
倒伏期	7月27日	7月29日	+2日
枯葉期	8月14日	8月19日	+5日

草丈は平年を上回って経過したが6月の長雨や低温により生育は軟弱で一部排水の悪いほ場では葉先枯れや下葉の枯れ上がりが見られた。しかし、7月以降は比較的日照時間が多く推移したことにより草丈、葉数、葉鞘径の値が平年より大きくなり生育量が確保された。

球肥大は平年より3日程度早く始まり、順調に肥大した。倒伏期は7月27日と平年より2日程度早く終わった。倒伏後の枯葉は順調に進み、枯葉期は平年よりの5日早い8月14日となった。

収穫盛期は平年より8日早い8月30日で、収量・品質ともに良好となった。

表2 たまねぎの農作業期と平年比較
(普及センター定点)

作業期	平成 28 年	平 年	遅速(差)
は種期	2月22日	2月25日	+3日
移植期	4月26日	5月2日	+6日
根切り期	8月14日	8月21日	+7日
収穫期	8月30日	9月7日	+8日

表3 たまねぎの生育と平年比較
(普及センター定点)

生育	草丈 (cm)	葉数 (枚)	葉鞘径 (mm)	球径 (cm)	
				H28	平年
5月15日	12.9	2.2	3.5		
6月1日	25.8	4.5	7.5		
6月15日	51.7	6.6	12.9		
7月1日	81.0	8.1	20.9		
7月15日	82.3	8.0	20.0	5.5	4.6
8月1日	63.1	6.6	16.3	7.6	6.5
8月15日				7.8	7.2
9月1日				8.5	7.2

『病害虫』

◎ネギハモグリバエ

予察調査ほ場においてネギハモグリバエ成虫が捕殺され始めたのは、5月4半旬〜6月1半旬。その後低

密度で推移し、7月3半旬にわずかに捕殺頭数が増加したが、食害痕もわずかに確認される程度だった。

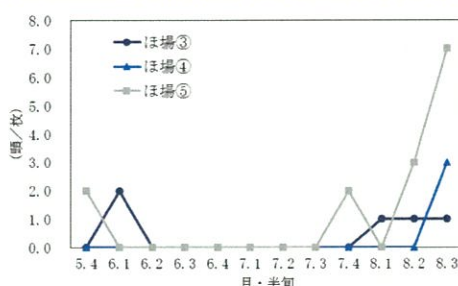


図2 たまねぎネギハモグリバエ捕殺頭数の推移(美咲市)
(普及センター予察ほ場)

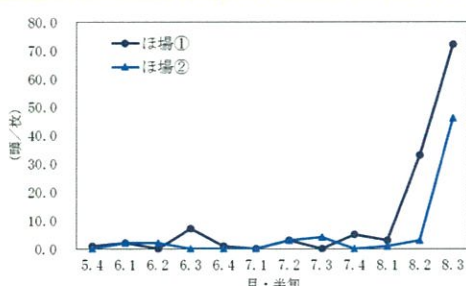


図1 たまねぎネギハモグリバエ捕殺頭数の推移(岩見沢市)
(普及センター予察ほ場)

再び8月2半旬〜3半旬の期間に捕殺頭数が増加したが、被害はほぼ確認されなかった。特に、岩見沢市の2ほ場は捕殺頭数が多く、8月3半旬には最大で粘着板1枚当たり72頭

射手座



コミュニケーション運が活発化。苦手意識を感じていた人とも、楽しく会話が弾みそう。開運には書籍整理を

蠍座



短気になりがち。すぐカッとしやすいので、一呼吸置いてから発言を。リラックスには、一人の時間が必須

2017. 2

平成 28 年産農作物を振り返る

捕殺された。美幌市3ほ場は期間を通して捕殺頭数が少なく、最大でも7頭以下で推移。本年は昨年を引き続きネギハモグリバエの発生が少なかったことから、りん茎内部への幼虫の食入や腐敗も少ない年だった。

◎アザミウマ類

アザミウマ類は昨年引き続き発生が多く、6月下旬から増加した。7月中旬以降から被害も散見され、発生頭数は常に多い状態が続いた。



写真1
アザミウマ類の
成虫と幼虫

『平成29年産に向けて』

ほ場の融雪を促進し、適期移植に入れるようにする。ほ場の透排水性が不十分な場合は心土破碎を実施し、移植後の根張りを確保する。

生育期間中には病害虫の発生予測に努め、適期防除を実施する。特に、アザミウマ類の多発年が続いているので薬剤による防除効果を確認し、散布水量は十分確保する。

収穫後には緑肥や堆肥による有機物の補給を行い、地力を維持する。

アスパラガス

『作型ごとの生育経過』

(1)ハウス作型

平年通り2月中旬から除雪やハウスピニールの被覆が始まったが、断続的な降雪により作業が進まなかった。融雪は平年よりも早かったが、H27年よりも遅かったため、収穫開始はH27年よりも遅かった。3月下旬から4月上旬は日照に恵まれ、春芽の萌芽は順調であった。春芽の収量は若茎の太さは太かったが、萌芽数が少ない傾向があり、前年並みやや少なかった。立茎は目標とする太さの親茎と本数を確保することができた。しかし、6月の日照不足と低温により親茎の樹勢が弱く、灰色かび病が多発し、夏芽の収穫始めとなる7月上旬まで天候不順であったため、前半の収量は少なかった。後半は8月以降の好天により、親茎の生育は回復し、若茎の太さも太くなったが、夏芽の収量は前年並みやや少なかった。

(2)露地作型

6月の天候不順により、春芽の収量は前年並みやや少なかった。

立茎栽培では、目標とする親茎の太さと本数を確保することができ、立茎期間であった7月は日照に恵ま

れ、親茎の生育は良好であった。夏芽の収穫が始まった7月下旬から気温は高く推移し、夏芽の萌芽は順調であった。夏芽の収量は概ね良好であったが、ほ場によっては、病害虫の発生により収量や製品率が低下した。慣行栽培での養成期間中の生育は、平年よりも草丈が長く、萌芽数が多かった。

表1 H28 生育と過去2年間との比較 (JA びばい管内調査ほ場の平均)

作 型		草丈 (cm)	有効莖数		GI	斑点病 発病指数	根中糖度	
			莖数(本/m)	莖径(cm)				
ハウス		H28	180.6	13	1.25	2,913	2.7	20.0
		H27	198.4	13	1.23	3,203	2.9	21.7
		H26	182.4	15	1.14	3,085	2.4	22.3
露 地	立茎	H28	181.9	14	1.12	2,891	2.4	21.9
		H27	158.7	15	1.18	2,842	2.4	20.3
		H26	168.5	14	0.98	2,265	2.0	23.2
	慣行	H28	173.0	23	0.94	3,808	2.0	23.0
		H27	156.3	22	0.96	3,301	2.4	22.9
		H26	144.9	23	0.99	3,257	2.0	25.4

《草丈》トッピング実施ほ場も含む
《有効茎》茎径0.5cm以上で、枯死茎は含まない
《GI》平均草丈×1mあたり茎数×平均茎径
《斑点病発病指数》0.1発病なし
2.0発病が認められ、一部落葉、黄化

4.0以上の黄化、落葉

(3)秋季生育調査結果
生育調査は10月上旬、根中糖度調査は11月に行った。

ハウス、露地作型ともに、翌春に必要な生育量を確保しており、根中糖度も平年並みに高く、株養成が十分行われたと思われる。

『病害虫の発生状況』

斑点病は、ハウス作型では7月上旬、露地作型では8月下旬から病斑が見られ、H27年よりも発生は少なかった。

灰色かび病が発生し、花殻や生長点付近での罹病がハウス作型で多かった。

茎枯病、疫病は露地作型のみ7月中旬以降から病斑が見られ、発生は多かった。

カメムシ類、アザミウマ類、ヨトウムシ類は、7月下旬以降から発生が増加し、食害による茎葉の奇形や芯止まり、夏芽の製品率の低下が見られた。

『平成29年産に向けて』

●夏秋期の生育状況から、株養成が十分行われたと推察されるため、春は、通常通りの収穫日数が見込める。しかし、斑点病や茎枯病などの病害



平成 28 年産農作物を振り返る

により早期に茎葉が黄化、落葉した
ほ場は、春芽の太さや品質を見なが
ら収穫期間を短縮する。

●親茎の太さは、規格（10～13mm）
中心で立てる。

立茎栽培では、親茎が太いほど、同
じ鱗芽群から萌芽した若茎は重く、
その関係は春芽よりも夏芽が高い。
2L以上の親茎を立てた場合、萌芽
の回転が遅く、外品の発生が多くな
ることから、収量と品質を高めるた
めに、親茎の太さは規格を目標と
する。

●栽培年数が長いほ場が多くなり、
土壌の養分バランスが悪くなつてき
ている。定期的に土壌診断を行い、養
分の過不足を改善し、養分バランス
の適正化を図る。

●病害虫の発生予測に努め、防除を
徹底する。

斑点病は、立茎開始から3週間頃
（擬葉展開始め）までには防除を開始
し、初期感染を防止する。

H28年にハウス作型で発生が多か
った灰色かび病は、立茎時期となる
6月が天候不順であることが多いた
め注意する。特に擬葉展開始め～開
花頃の薬剤散布と換気を行う。

疫病、茎枯病は立茎開始直後から
防除を開始し、なるべく雨前に薬剤

散布を行う。また、罹病茎葉は抜き取
り、ほ場外へ搬出する。

7月下旬以降は、各種病害虫の発
生が増加する時期であり、特に、露地
慣行栽培では、7月下旬から8月上
旬頃には二次萌芽が始まるため、防
除を必ず行う。

ハスカップ

『平成28年産について』

4月下旬～5月上旬の気温は例年
より低く推移したが、開花は平年並
みとなる5月8日以降であった。

開花後は気温も上昇し、順調な生
育であったが、風が強く、風害によ
る、結実不良も見られた。

収穫は前年より2日遅く、6月19
日から受け入れを開始した。

実の肥大する5月下旬～6月中旬
は、冷涼な気温と適度な土壌水分に
より、結実数はやや少なかったが、実
の肥大は例年になく良好であった。

土地改良事業の取り進めにより栽
培面積が前年対比で95.3%（10.29
畝）と減少している状況であったが、
JA集荷量（共計ハスカップ）は前年
比98.1%の25,602キとなり、
生産者の収穫量は増加した年であっ
た。また、集荷推進による生産組合に
加入していない組合員からのハスカ

ップ買取を行い、前年対比で
195%となる5,558キを集荷
する事が出来た。

収穫終了は前年より5日早い7月
26日に終了した。

平成26年度からは、美唄市の支援
を受け作付推進に取り組み、2年間
で約3,000株を新規定植した。今
後も美唄市と連携し、ハスカップの
維持・拡大に繋げたい。

園芸全般

『平成28年産について』（JA）

雪解けが早く、4月～5月も好天
に恵まれたが、気温は低く、生育は品
目でバラツキはあるが、比較的順調
くやや遅であった。

6月以降は低温と降雨量の増加に
より露地品目については水やけ等の
生育不良が発生し、病害の発生も見
られた。

7月中旬以降は天候も回復し、各
品目で収穫量は増加傾向となった
が、台風により断続的な降雨と風害
により、品質低下が心配された。

9月中旬以降は曇天と断続的な降
雨により気温は急激に低下し、収穫
作業を例年よりも早期に切り上げざ
るを得ない品目が目立ち、花きの採
花数や青果の収穫量は激減した。

『平成29年度に向けて』（普及センタ
ー）

近年は局所的な豪雨や異常な低温
や高温など、気象変動が激しくなっ
ています。28年には台風による風雨
被害も発生した。

心土破砕によるほ場の透水性改
善や、明きよ（特に額縁明きよ）や暗
きよの効果確認、緑肥や堆肥による
有機物の補給など、基本的技術の励
行が必要となる。品目によっては高
畦栽培により作土層を確保し、湿害
回避することも有効。施設栽培では
降雨が多くなると灰色かび病が多発
しやすくなるため、薬剤防除と併せ
てハウス側窓の換気を適切に行い、
温湿度コントロールを行う。

生育期間中は病害虫の発生予測に
努め、適期防除を行う。

【文責】

アスパラ・ハスカップ／農産園芸課
その他／空知農業改良普及センター

今回掲載していない作物や内容について
は、各担当課の職員にお尋ねください。

《水稻・小麦・大豆》

米 麦 課 TEL 6310527

《たまねぎ・アスパラ・ハスカップ》

農産園芸課 TEL 6310527



第68回 JAびばい青年部 通常総会



第68回青年部通常総会開催

青年部は1月11日、第68回通常総会をJA3階大会議室で開き部員41名が出席し、全6議案を原案通り可決した。また役員改選では、新部長に谷村拓哉副部長(中村)が選ばれた。

開会で土屋謙部長は「皆さんの協力と積極的な参加で無事に事業を終えることが出来た」と1年を振り返った。平成29年度事業計画は①生産者として「安全・安心」な農産物の供給と農業の大切さを消費者に伝える②農業者として「技術の向上」また「新しい技術」を積極的に取り入れ学ぶ③地域のリーダーとして「農業」を守る発信と活動に取り組むことを事業の柱と決め、活動を通して部員の結束力強化を図ることとした。

議事後の新役員あいさつで谷村新部長は「副部長3年間の経験を活かし、JAびばい青年部のより一層の発展に力を尽くす」と決意した。

新役員は次の通り(敬称略・写真左より)

【部長】谷村拓哉【副部長】米内彰吾(再・上美唄)、金子堅太郎(新・上美唄)、加藤雅樹(新・北美唄【委員長】千葉竜也(新・茶志内協和)、安藤貴洋(新・沼の内)、土屋陽輔(新・進徳)【監事】堀内政成(新・北美唄)、樋口健作(新・上美唄)



市民の声に応えたい

初めての味噌作り 講習会開催

 女性部加工部会

女性部加工部会は平成28年12月1日、美唄市民を対象とした味噌作り講習会をJA2階研修室で開催。同部会員が講師となつて、長年の味噌作りで培った技術を参加した11名の市民に伝授した。

味噌作りにかかせない大豆と米は美唄産を使用。味噌作りには約1年を要するため、この日はあらかじめ部会員が作つておいた米麴に塩と種水を混ぜ、蒸かした大豆を合わせたものをミートチョッパーでミンチ状にし、空気が入らないよう樽に叩きつけながら詰める作業を行った。

40分の仕込みを体験した参加者は「普段洋食ばかりの朝食を和食中心に変えたくて参加した。今日の体験はとても楽しく意欲が湧いた」と話し、今回の体験に満足した様子だった。

今後は5月に発酵むらやカビ発生防止のための切り返し作業を行い、11月に仕上がった味噌を参加者に配布して、講習会での全工程が終了となる。

同部会の大江千嘉子部会長は「米麴から作ってみたいという声も聞けた。今後は参加者の要望に耳を傾け、講習会を続けていきたい」と笑顔で話した。

9年連続！ しめ飾り寄贈

平成28年12月21日、岩見沢市の空知総合振興局へ今年で9年目となる美唄産おぼろぎの稲わらを使った「しめ飾り福亀」4本を寄贈した。

この日、振興局を訪れたのは村上利雄組合長、西川賢農業振興部長としめ飾りを手作りした中村の佐藤秀子さん。村上組合長と佐藤さんから金田幸一局長へ、平成29年の五穀豊穰とあらゆる災いから逃れるようお願いを込めて手渡された。



左から横野振興局産業振興部長、金田振興局長、村上組合長、佐藤秀子さん、西川農業振興部長

女性ならではの視点で

女性部役員は1月12日、J A 役員との懇談会をJ A 3 階中会議室で開催し、J A に対する意見や要望を、村上利雄組合長ら役員に伝えた。

女性部役員からは「農業所得20%増大に向けてJ A としてどのように取り組んでいるのか」、またJ A 及び農場の取組状況の確認、施設運営に対する質問などが述べられ、J A 役職員に対応を求めた。



活発に意見交換を行う女性部員ら

女性部特集！！



シルバー部会が毎年恒例のクリスマス会を開催。社会福祉協議会の協力でゲームなどを楽しんだ。(12/16)



J A へ部員が手作りしたしめ飾りを寄贈し、村上組合長と岸専務へ手渡した。(12/14)



養護老人ホーム美唄市恵風園へタオル112本を寄贈した。(12/19)



美唄市へ手作りのしめ飾りを寄贈し、高橋幹夫市長に手渡した。(12/19)



介護老人保健施設コミュニティホーム美唄へ手作りのしめ飾りを寄贈した。(12/19)

理事会だより

定例理事会12月15日 臨時理事会12月22日

定例理事会

報告

- ①平成28年11月末現在、業務財務報告
- ②管理信用委員会報告
- ③営農経済委員会報告
- ④信用事業リスク管理強化委員会報告
- ⑤農家経済改善対策委員会報告
- ⑥第10次農業振興基本計画策定進捗状況報告
- ⑦平成28年度農業基盤整備促進事業及び農地耕作条件改善事業実施状況報告
- ⑧人事動静報告
- ⑨平成28年度決算推定報告
- ⑩その他

議案

- ①平成28年度第3・四半期末監査意見報告
- ②平成28年度全国監査機構期中監査報告
- ③平成28年度自己査定に係る不動産評価基準の設定について
- ④平成28年度管理債権の回収見込みについて
- ⑤特定組合員を含む団体への貸付について
- ⑥特定組合員の設備投資等について

臨時理事会

報告

- ⑦平成27年産主食用米共計追加精算について
- ⑧平成27年産政府備蓄・加工用米の最終精算について
- ⑨平成27年産新規需要米の共計最終精算について
- ⑩平成28年産新規需要米の概算精算について
- ⑪平成28年産特定米穀の精算について
- ⑫平成28年産らいす工房調製米穀の精算および平成27年産らいす工房調製米穀の最終精算について
- ⑬年末手当の支給について
- ⑭その他

その他報告事項

- ①平成29年産以降の畑作物直接支払交付金概要報告
- ②平成28年度経営所得安定対策交付状況報告
- ③平成29年度営農計画審査日程報告
- ④平成28年産米・大豆集荷実績報告
- ⑤生産施設操業状況報告
- ⑥経済事業業績報告
- ⑦その他

…全議案承認

議案

- ①営農経済委員会報告
- ②農家経済改善対策委員会報告
- ③特定組合員のクミカン収支見込報告
- ④その他
- ①JAB「基本理念」の設定について
- ②職制規程の一部改訂について
- ③職員就業規則の一部改訂について
- ④育児および介護休業規程の一部改訂について
- ⑤退職給与規程の一部改訂について
- ⑥セクシュアルハラスメント防止規程の一部改訂について
- ⑦理事並びに特定組合員を含む団体且つ大口貸出先に対する資金の貸付について
- ⑧第10次農業振興基本計画(案)について
- ⑨平成27年産小麦の最終精算について
- ⑩平成27年産国内麦流通円滑化特別対策事業交付金の支払いおよび規格外小麦の最終精算について
- ⑪平成27年産大豆の最終精算について

その他

…全議案承認

その他報告事項

- ①平成29年産米生産数量目標等の配分状況並びに30年産米生産情勢報告
- ②平成29年度作付意向調査報告
- ③大豆数量払戻金実行報告
- ④平成28年産大豆集荷実績報告
- ⑤生産施設操業状況報告
- ⑥その他



JAグループ通信

発信元：JAグループ北海道
12月号

JA北海道中央会



HBCラジオ「秋の恵みに感謝カンゲキ！北海道農業応援スペシャル！！」(11月3日)を通して、農業の魅力を一日中発信し続けました。寄せられたメッセージは4,566件。内田副会長がグリーンツーリズム等についてお話をされた、カーナビラジオ公開生放送には、のべ400名が来場と、大盛況。

スマートフォンアプリ「JA2MP」では、道内の生産者や直売所を巡る中継キャラバン等の期間限定お宝画像も発信。地域との繋がりが感じられるサポーター550万人づくりへの貴重な一日となりました。



JA北海道信連



11月に農業経営者支援の一環として「農業経営フォーラム」を開催。

「あぐり王国」の森崎博之氏が所属する㈱クリエイティブオフィスキュー 鈴井代表に「道内農業の魅力を再発見と発信」を、学習院女子大学 江口名誉教授に「道内農業に求められるマーケティング発想」を講演頂き、参加者からは「農業経営のヒントを得た」「農業の魅力を探求する姿に感銘を受けた」等好評を頂きました。



ホクレン



全道のホクレンSSで平成28年7月～9月に展開した「2016『ラブ&ハート』チャリティキャンペーン」に寄せられた募金と一部売上の、総額300万円を北海道社会福祉協議会へ寄託しました。今年で35回目の当キャンペーンは、社会貢献活動「ホクレンシーズプロジェクト」の一環。

道内約780の児童保育施設に、絵本や文学書の購入費用としてご利用いただけます。



JA共済連北海道

生命共済と傷害共済で、入院・通院共済金をご請求していただく場合、診断書取得・提出をいただいておりますが、所定の条件を満たせば「治療報告書制度」による自己申告と領収書提出のみで共済金をご請求いただけます。

病院で診断書を取得する手間や費用負担も無くなり、共済金ご請求までの時間が短縮できるメリットがございますのでご活用ください。ご利用条件については、ご加入先のJAへお問い合わせください。

JA北海道厚生連



平日に時間がとれない方へ、完全予約制の土曜日健診を開始しました。【旭川】毎月第2・4土曜「土曜ドック」を実施。(男性対象・各種オプション検査可能) 随時予約受付中ですので、お電話でお問い合わせください。(TEL0166-33-7171)【札幌】毎月第2土曜に「脾臓・胆のうドック」を実施中。(TEL011-251-5713)【帯広】オプション検査「脳ドック」を平成29年1月より毎月第2土曜に実施いたします。(TEL0155-24-4161)

《JAびばい融資課よりキャンペーンのお知らせ》

**キャンペーン
実施中!**



お気軽にご相談、お問い合わせ下さい。
またローン新規ご契約の方に「粗品」進呈いたします。

JA教育ローン

期 間 / 平成 29 年 4 月 28 日 (金) まで

**キャンペーン
実施中!**



JAマイカーローン

期 間 / 平成 29 年 3 月 31 日 (金) まで

キャンペーンの詳しい内容は…
JAびばい 信用部融資課 電話 (0126) 63-2163 まで

こよみ・行事

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

- 8 日 ○女性部生活作品展
- 11 日 ○**建国記念日**
- 13 日 ○信用事業リスク管理強化委員会
- 14 日 ○企画会議
- 16 日 ○定例理事会
○監事会
○コンプライアンス委員会
- 17 日 ○臨時企画会議
- 20 日 ○常務委員会
- 21 日 ○臨時理事会
- 24 日 ○女性部通常総会
- 27 日 ○全国監査機構決算監査
(3月3日迄)

平成28年度 JAグループ北海道 「ICT導入応援事業」の事業申請等について

昨年10月28日に標記事業概要の説明会を開催致しましたが事業申請に係わる日程をお知らせします。

●事業内容

GPSガイダンス装置・自動操舵装置を同時に取得する者に対して、JAを経由してGPSガイダンス装置・自動操舵装置の導入費用助成を行う

●助成内容

《助成対象機械》 ①GPSガイダンス装置 ②自動操舵装置

※①②を同時に取得する場合のみ対象

《対象者》 農業者、農業法人等

《助成額》 20万円以内(1経営体あたり1回限り)

《H28年度事業額》 5千万円

●事業実施期間

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの1年間

※上記期間に助成対象機械を購入した農業経営体が対象

●募集期間

平成29年4月1日より平成29年4月30日までの1ヶ月間

★対象機械を購入された方は事前に下記期日までにご連絡下さい★

期 日：平成29年3月31日 ※個別に対応させていただきます。



JAびばい 企画相談課(担当:森) TEL63-2165

農業者年金で生涯所得の確保を！

月々の保険料を大きくすることで
将来の支給額を増やせます

税制面で大きな優遇措置があります

農業者年金に加入すれば～農業者年金の支給額（年額）の試算

加入年齢	加入年数		保険料月額 4万円の場合	保険料月額 6万7千円の場合
40歳	20年	男性	62万円	103万円
		女性	52万円	87万円
50歳	10年	男性	28万円	46万円
		女性	23万円	39万円

保険料控除分の節税額（所得税・住民税）

課税対象所得	税率	保険料月額4万円 (年額48万円)の場合	保険料月額6万7千円 (年額80万4千円)の場合
195万円以下	15%	7万2千円	12万6百円
195万円超 330万円以下	20%	9万6千円	16万8百円
330万円超 695万円以下	30%	14万4千円	24万1千2百円

- 積立方式・確定拠出型の年金です。制度発足以降13年間の運用利回りは、年率で+3.00%です。
- 保険料は2万円から6万7千円まで（千円単位）で自由に選択でき、いつでも見直しが可能です。
- 保険料の全額社会保険料控除の税制優遇措置もあります！
- 終身年金です。80歳までにお亡くなりになった場合、死亡一時金があります。
- 納められた保険料につきましては途中で脱退されても脱退一時金はありません。将来、年金として支給されます。
- 脱退された方も、加入条件を満たせばいつでも再加入できます。

あなたの老後生活への
備えは十分ですか？



お問い合わせはコチラ

JAびばい 信用部 融資課

TEL0126-63-2163
(担当：安村、池田)

●退職者●
○信用部 共済推進課
今野 空
(平成28年12月31日付)

農協職員資格認定試験
合格者

《初級》
農産園芸課 岡部 由暉

《中級》
融資課 安村 貴紀
融資課 関口 遼郁

おめでとう！

みなさん
合格おめでとう！
これからの活躍を
期待しています！



川柳

身の不幸盾に生き抜く処世術

印刷の門松貼って自然保護

どの花も饒舌に酔う花言葉

ねばねばと粘って帰れ北の島

冬の星少年進路まだきめず

逃げ道を作り叱ってくれた母

勤勉な蟻で他人の荷も背負い

火傷してやっと知ったよ下心

もう夢はよそうとはしゃぐ鏡掛け

積もっても消えても雪は邪魔にされ

秘め事も賑わいすらも石の街

温もりの言葉と明日へ根を伸ばす



勝義

キヌ

みどり

米子

俊朗

裕子

共済ホットライン

第 90 号

自動車共済ご加入の皆様へ

ご存じですか？

自賠責共済セット割引

対人賠償掛金が7%割引!!

○車検の際には自賠責に加入するのが一般的ですが、このときJAの自賠責共済にご加入いただければ、**自賠責共済とのセット加入で自動車共済の対人賠償掛金が7%もお安くなります。**※申込もうとする対人賠償付契約の責任の始期日を共済期間に含む自賠責共済が締結されているなど所定の条件があります。

JAオリジナルの割引制度!!

- 自賠責は法律（自動車損害賠償保障法）によって加入が義務付けられている強制のもので、掛金は一律となっております。
- このセット割引はJAオリジナルのもので、**必ず加入しなければならない自賠責をJAで加入すればご利用できる割引制度**です。



Q: でも自賠責って、車検を受けたとき知らないうちに加入しちゃってるんじゃないのかな？

そうですね。ディーラーや修理工場等の車検を受けるところで自賠責に加入することが多いですね。
でも若干手数料はかかりますが、①車検の際に「JA共済で自賠責を切ってください」と言うか、②車検前にJAにご来店いただき自賠責共済にご加入し、ディーラー等に「自賠責はJAで加入したのでいりません」と言ってもらえばいいですよ！



JAの自動車共済の〈大きな安心〉

- 全国約 5,700 名の損害調査スタッフ体制 ※27 年 4 月 1 日現在
 - 安心の示談交渉サービス
 - 24 時間・365 日フリーダイヤルで事故受付とアドバイス
- ※サービスの利用にあたっては一定の条件があります。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧下さい。
また、ご契約の際には「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧下さい。
このチラシの有効期限は平成 29 年 3 月 31 日までです。

【16019990008】

お問い合わせは…



JAびばい 信用部 共済推進課

(0126) 63-2164

J A の 概 況

<12 月末>

○皆さんの貯金	25, 568, 699千円
○皆さんへの貸出金	4, 465, 094千円
○皆さんの出資金	723, 230千円
○組合員数	(正) 794人 (准) 4, 025人 (計) 4, 819人

美唄市農協生活改善
運動推進協議会



お悔やみ申しあげます
上美唄

▼澁谷 チヨさん
(九十三歳)

十二月二十一日死去

中村

▼伊藤 英子さん
(八十九歳)

十二月二十六日死去

編集後記

表紙でお伝えしたとおり、J A びばい貯金課窓口では、入試願書や入学申込用の収入証紙を購入した方にささやかではありますが【受験ガンバレグッズ・入学おめでとうグッズ】をプレゼントしています！

今回表紙の撮影に協力してくれた川原愛未さんは、高校受験を間近に控えた美唄市立美唄中学校に通う3年生。受験勉強の合間に合格祈願のおやつをつまんで、頑張ってくださいね！

収入証紙をお求めの際は、J A びばい貯金課へお越し下さい。職員一同みなさんのお越しを心よりお待ちしております。

お詫びと訂正

キャッチボール新春号 P 1 2 に記載しておりました美唄市農村機械化センター連合会の会長名が間違っていました。

正しくは下記の通りとなります。大変申し訳ありませんでした。

会長 林 孝友 氏

↓

会長 畑 雄二 氏

神の實
仕立ての
まごころの
ワイン

価格 1本 1,800円(税込)

平成26年に誕生した「びばいのてしごと」ブランド。醤油と味噌はもう召し上がった。びばいのてしごと」は美唄産の原料、素材にこだわった商品作り、統一したイメージでシリーズ化を図り、皆さんに親しまれる身近なブランドを目指しています。

「びばいのてしごと」の新商品「神の実仕立てのまごころワイン」は美唄産ハスカップを原料としたフルーティなロゼワインです。3月からAコープ2店舗で販売をいたしますので、よろしく願います。

HOKKAIDO

美唄ハスカップワイン

Bibai Haskap Wine

■甘味果実酒(やや甘口) ■アルコール7%
■内容量 720 ml
北海道中央葡萄酒(株) 製造
[お問い合わせは...]
J A びばい 企画相談課まで電話 (0126) 63-2165



「びばいのてしごと」ブランド

【新商品】3月1日発売